# NHK 大河ドラマと米沢

直江兼続が主人公となった NHK 大河ドラマ「天地人」の 放送は平成 21 年(2009 で、今年で、はや 15 年経ちまし た。当時、米沢市上杉博物館で開催した「米沢 愛と義のまち 天地人博 2009」や、林泉寺の直江兼続夫妻の墓所などに 観光客が殺到したことが思い浮かばれます。

米沢市は、この「天地人」の他にも、NHK 大河ドラマとは深い関係があります。その歴史を少し振り返ってみます。

## 第2作の「赤穂浪士」には伴淳三郎も出演

第2作の「赤穂浪士」は、大石内蔵助を長谷川一夫、敵役の きらこうずけのすけ 吉良上野介を滝沢修が演じ、米沢出身の喜劇俳優・伴淳 三郎も出演しました。映画・演劇・歌舞伎・歌謡界からの豪華 出演者が人気を集め、討入の回は53%という最高視聴率に 達しました。

## 上杉謙信を描いた「天と地と」 主役は石坂浩二 米沢の観光に大きな影響を与えた

第7作目の「天と地と」は、昭和44年(1969)の放送で、初のカラー作品でした。原作は海音寺潮五郎で、上杉謙信の一生を、宿命のライバル武田信玄との戦いを軸に描いています。上杉謙信は石坂浩二が演じ、少年期は中村光輝が演じ人気を集めました。平均視聴率も25%と高く、中止が検討されていた大河ドラマは継続されることとなりました。

この大河ドラマによって上杉謙信が脚光を浴び、米沢も大きな影響がありました。まず、この年の上杉まつりでは、5月3日の甲冑行列では「天と地と」の5場面を再現し、謙信の幼少

#### NHK 大河ドラマ一覧

回数	放送年	タイトル
1	1963年	花の生涯
2	1964年	赤穂浪士
3	1965年	太閤記
4	1966年	源 義経
5	1967年	三姉妹
6	1968年	竜馬がゆく
7	1969年	天と地と
8	1970年	樅ノ木は残った
9	1971年	春の坂道
10	1972年	新·平家物語
11	1973年	国盗り物語
12	1974年	勝 海舟
13	1975年	元禄太平記
14	1976年	風と雲と虹と
15	1977年	花神
16	1978年	黄金の日日
17	1979年	草燃える
18	1980年	獅子の時代
19	1981年	おんな太閤記
20	1982年	峠の群像
21	1983年	徳川家康
22	1984年	山河燃ゆ
23	1985年	春の波涛
24	1986年	いのち
25	1987年	独眼竜政宗
26	1988年	武田信玄
27	1989年	春日局
28	1990年	翔ぶが如く
29	1991年	太平記
30	1992年	信長
31	1993年	琉球の風
32		炎立つ
33	1994年	花の乱
34	1995年	八代将軍吉宗
35	1996年	秀吉
36	1997年	毛利元就

時代の守役・金津新兵衛を演じた俳優・高松英郎が特別参加し、大きな拍手が沸き起こりました。また、謙信の出陣式・武禘式は、30 日に有志によってささやかに行われていたのを、2日夜の開催に変更し 500 人の観衆を集めました。更に昭和 46 年からは、上杉 28 将を配する現在のシナリオにバージョンアップしました。そして、昭和 48 年からは松川河川敷で川中島合戦が開始され、一大イベントへと発展しました。

さらには、謙信の遺骸が眠る上杉家廟所も昭和45年の春から公開を開始、観光案内所が開設されるなど、米沢が「上杉の城下町よねざわ」を標榜する契機となるドラマでした。

なお、「天と地と」の放映を機に、春日山城跡(新潟県上越市)に上杉謙信、甲府駅前(山梨県)には武田信玄の銅像が建立されています。

### 「独眼竜政宗」は歴代№1の視聴率

### 米沢にも観光客が訪れるが、どこを案内するか悲鳴が

米沢生まれの伊達政宗を描いた「独眼竜政宗」は昭和62年(1987)の放映で、原作が山岡荘八・脚本がジェームス三木、政宗は渡辺謙が演じました。梵天丸(政宗の幼名)のセリフ「梵天丸もかくありたい」は、流行語となりました。そして、平均視聴率は39.7%と、現在でもNo.1の視聴率となっています。

また、ドラマでは政宗が小野川温泉で療養した場面もあり、米沢にも観光
に関する問い合わせが多くありました。しかし、米沢は上杉一色の城下町
で、政宗の鎧等の遺品はほとんどが仙台に移っており、松が岬公園内に「伊
達政宗生誕の地」(右写真)の石碑を建てた位で、観光業者からはどこに案
内したらいいのかとの悲鳴の声も聞かれました。残念ながら、当時はドラマ
で使用したセットや衣装・道具を中心にドラマ展を開催し、観光客に提供す

回数	放送年	タイトル
37	1998年	   徳川慶喜
38	1999年	元禄繚乱
39	2000年	葵徳川三代
40	2001年	北条時宗
41	2002年	利家とまつ
42	2003年	武蔵 MUSASHI
43	2004年	新選組!
44	2005年	義経
45	2006年	功名が辻
46	2007年	風林火山
47	2008年	篤姫
48	2009年	天地人
49	2010年	龍馬伝
50	2011年	江・姫たちの戦国
51	2012年	平清盛
52	2013年	八重の桜
53	2014年	軍師官兵衛
54	2015年	花燃ゆ
55	2016年	真田丸
56	2017年	おんな城主直虎
57	2018年	西郷どん
58	2019年	いだてん
59	2020年	麒麟がくる
60	2021年	青天を衝け
61	2022年	鎌倉殿の 13 人
62	2023年	どうする家康
63	2024年	光る君へ



るという発想はありませんでした。大河ドラマ館が展開されたのは、 2007 年の「風林火山」から だと言われています。

# 「元禄繚乱」では米沢藩の江戸家老・色部又四郎を松平健が演じる

平成11年(1999)の「元禄繚乱」は忠臣蔵を描いた大河ドラマで、主役の大石内蔵助は五代目

中村勘九郎、吉良上野介は石坂浩二、米沢藩の江戸家老・色部又四郎は松平健が演じました。色部が重要な役目で出演することで、米沢市に資料提供の依頼がきました。当時の米沢市史編さん室主幹の小野榮が担当し、編さん室には毎週台本が送られ、室員総出で台本のチェックを行い、番組のエンディングロールには「資料提供小野榮撮影協力米沢市」の名が流れました。



#### GACKT が上杉謙信を演じた「風林火山」

平成 19 年(2007)の「風林火山」は、原作は井上靖で、武田信玄に仕えた軍師・山本勘助が主役で内野聖陽が演じ、上杉謙信をミュージシャンの GACKT が演じたことで注目されました。そして、番組や NHK ステラ等で、謙信の遺品が多く残る米沢が紹介されました。

なお、当時の裏話ですが、NHK が謙信役を公表する直前、NHK 大河ドラマ班から市立米沢図書館に電話がありました。「謙信役の俳優が急遽、謙信の墓をお参りし、遺品を見たいとのことで、内密に案内してほしい」といった内容です。翌日朝から、御廟所・法音寺(泥足毘沙門天像)・米沢市上杉博物館・宮坂考古館等を、極秘で案内しました。

GACKT が演じた謙信は好評で、その後は上越市で開催の「謙信公祭」にも謙信役で出演、上越市のホテル・旅館が満室となり、行列が行われる沿道は6時間前から観光客やファンで埋まったと言います。

### 「天地人」 兼続と愛の兜が全国に知れ渡る マスコットキャラクター「かねたん」誕生

れたので、ここでは詳しく記しませんが、直江兼続に関する書籍 が大量に出版されたことが特筆されます。

また、米沢「天地人推進プロジェクト」では、兼続のマスコット キャラクターを募集、438 点の応募の中から、大阪市の岡野亜 記さんの「かねたん」に決定しました。その後は、「かげっちさま」 「おせんちゃん」「けいじろー」と仲間が増え、米沢のご当地キャ ラ、ゆるキャラとして活躍しています。



2009.11.3 伝国勢揃い

『大河ドラマ「天地人」米沢市推進 協議会報告書』より

### 「八重の桜」 戊辰戦争後、八重が米沢に滞在していた真実が明らかになる

平成 25 年(2013)の「八重の桜」は、福島県会津出身で、同志社大学を創設した新島襄の妻となった新島八重の生涯を描いた作品でした。東日本大震災後の東北復興を支援する意味も込められており、八重は綾瀬はるかが演じました。

大河ドラマ化の決定後、まず会津で八重の研究が進み、戊辰戦争後に八重が米沢の内藤家にお世話になっていたことが判明しました。市立米沢図書館にも問い合わせがあり、調査の結果、当館で所蔵する「鶴城叢書」173番に「明治三庚午御触書内藤新一郎」という資料を発見し、記者発表も行われました。八重の実家の山本家は会津藩の砲術師範で、八重は砲術師の川崎尚之助と結婚、内藤は川崎に大砲の訓練を受けた縁もあり、降伏後に八重一家が内藤をたより米沢に来た事実が明らかになりました。その後、多くの研究者が米沢を訪れて新資料を発見、八重と米沢との深い関係がクロ

ーズアップされました。



現在、米沢では「上杉鷹山公 NHK 大河ドラマ化をすすめる会」と「初代山形県令三島通庸を NHK 大河ドラマに推薦する会」の2つの会が活動中です。